

こっこめ通信 08 2018

「天気図とにらめっこ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

夏休みが始まって初めての特別行事だった「潮だまり探検隊」「川の生きもの観察会」「夜の昆虫観察会」が台風による悪天候のため中止になってしまいました。申し込みも順調に入り、定員いっぱいの締め切りだったのに残念です。参加できなかったお客様には申し訳なく思います。8月にもまだまだ行事がありますのでお申し込みお待ちしております。光るキノコ無料観察会も8月31日までやってますよ！

さて今回は、「台風12号の影響」「八丈島の7月は暑かった？」「アオウミガメの産卵」のお話です。

台風12号の影響

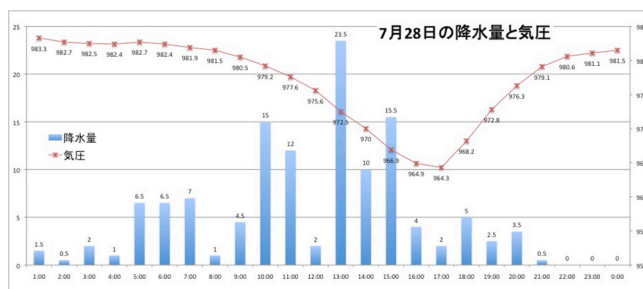
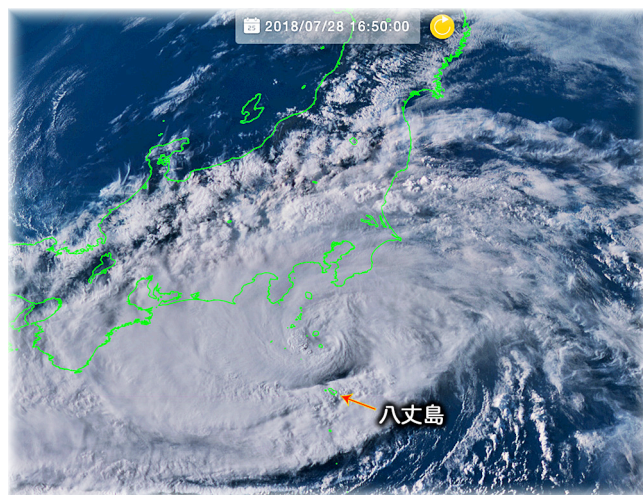
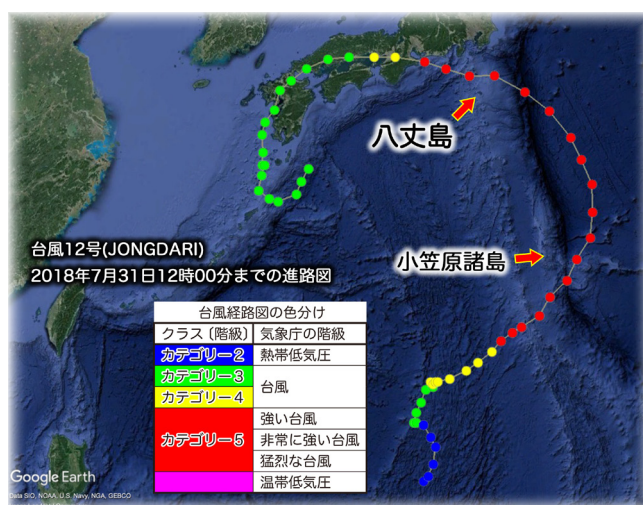
7月24日、北マリアナ諸島の北西海上で発生した台風12号(JONGDARI)は、27日に小笠原諸島の東側を北上してきました。本来ならばそのまま北や東に逸れるコースを通るはずですが、日本の上空にある寒冷渦の影響を受け、反時計回りに八丈島に向かってきました。27日の気象庁の予報では、28日午後に強い勢力を保ちながら八丈島を直撃する予報になっていました。

今回の台風は、台風から離れた北西側にも強い雨雲があり、27日の夕方から日が変わるまでに40mmの激しい雨も降りました。28日午前中は台風外側の雨雲が通過する度に強い風と強い雨が降りましたが、それ以外は比較的落ち着いていました。午後になり中心が近付き暴風域に入る頃には一気に風が強まり、横殴りの雨で外に出るのは危険な状態でした。ビジターセンターは休まず開館していましたが、お客様には安全のため、暴風域に入る前に声をかけてお帰りいただきました。

台風は予報よりも北側を通り、中心は御蔵島を通過していきました。八丈島の気圧データを見ると16時50分964.1hPaが最低気圧なので、その時間帯が最接近だと思われます。中段の雲の写真が16時50分の気象衛星ひまわり8号の画像です。しっかりとした雲です。

最大瞬間風速は八丈島特別地域気象観測所で17時10分に西南西の風26.6m/s、八丈島空港出張所では14時37分に北の風31.9m/sを記録しています。台風の中心に近かった割に強い風が吹かなかったのは島の北を通過したことや東から西に進むコースのためかもしれません。28日20時30分までの24時間降水量が164.0mmとそれなりの雨も降りました。通常、通過後の吹き返しの風が強く吹きますが、その風も吹かず、波しぶきによる潮も上がらず植物への影響もほとんどありませんでした。

特に被害がなくよかったですが、台風の季節はこれからが本番。気を引き締めていきたいと思います。



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

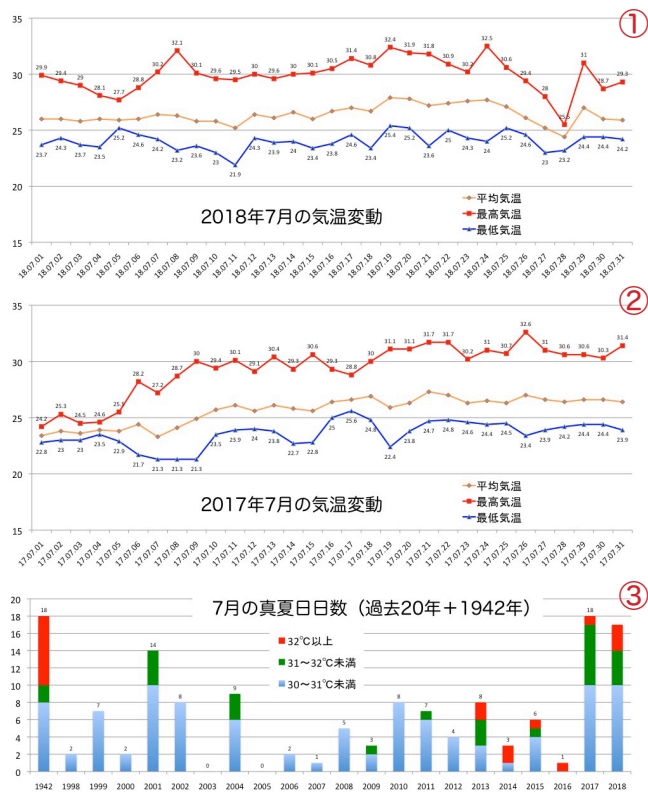
八丈島の7月は暑かった？

7月は太平洋高気圧とチベット高気圧のふたつの高気圧により全国的に気温が高く、猛暑の日が続きました。八丈島でも「暑いね〜」が合い言葉のようになっていましたが、気温はどれだけ高かったのでしょうか？気象庁の7月のデータを調べてみました。

今年は梅雨明けが早く7月初めから晴れていましたが、6日までは暑さが苦になることはありませんでした。しかし7日以降は最高気温が30℃を越える日が多く、八丈島も暑い日が続きました(右グラフ①)。島ではあまりない32℃越えの日が3回、31℃台の4回のうち2回は32℃に迫る気温でした。夜は涼しくなるはずの島で熱帯夜を5回も記録しているのにはビックリです。実は昨年の7月も晴れた日が多く、気温が高かったので比べてみました(右グラフ②)。今年は下旬に北東の風が吹き、気温が上がらない日がありましたが、全体的に去年よりも暑かったようです。特に平均気温が一定で変わらなかったことも暑く感じた要因でしょうか？

そこで過去に平均気温の高かった年を調べてみました(右下表)。今年は過去7番目に暑い7月でした。最高気温の平均は30.0℃で2位でしたが、最低気温の平均が他の年より低かったので平均気温が上がっていないようです。ちなみに1942年は34℃台を2回、33℃台を2回、32℃台を4回も記録し、真夏日の日数が18日と別格な年です。相当に暑い7月だったのでしょうか。

この気温で暑い！と言っていると、もっと気温の高い地域に住む方に怒られそうですが、島民にとってはこの暑さは厳しいです。このまま8月も暑いのでしょうか？



月平均気温1位～10位(7月としての値):統計期間1906～2018

	年	平均気温	最高気温 (平均)	最低気温 (平均)	日照時間	夏日日数	降水量
1位	1942年	26.9	30.1	24.4	255.0	18	35.2
2位	1961年	26.7	29.5	24.5	206.9	14	44.8
3位	1955年	26.7	29.1	25.0	218.6	8	74.2
4位	2001年	26.6	29.4	24.1	246.4	14	79.5
5位	1994年	26.6	29.3	24.7	172.4	9	60.5
6位	1914年	26.5	29.0	24.4	212.4	10	38.5
7位	2018年	26.4	30.0	24.0	243.9	17	225.5
8位	1930年	26.4	29.1	24.1	221.3	10	235.2
9位	1981年	26.3	29.1	24.2	231.7	9	85.0
10位	1946年	26.2	29.5	24.1	246.1	16	101.2

アオウミガメの産卵

7月11日の朝、島の西側にあるヤケンガ浜でアオウミガメの産卵がありました。産卵があったヤケンガ浜は、海水浴場整備のために砂が入られ、どうにか卵を産める状態になっていましたが、本来は砂がほとんどありません。そのため、卵を産むための砂が掘れずとても浅い場所に産卵していました。産卵場所は八丈支庁港湾課の方が檻で囲い、重しで流されないようにしてくれました。ふ化は8月下旬から9月上旬頃になりそうです。

八丈島周辺では通年アオウミガメが見られますが、産卵が確認されたのは初めてです。八丈島の北にある三宅島には大きな砂浜があり、ここ数年アオウミガメが産卵のため上陸しているそうです。



産卵があったヤケンガ浜と保護した産卵場所



Photo KINOSHITA MINORU

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は7月8日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成30年第7回）調査者・沖山、茂手木、青木、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			29	ホソバツルメヒシバ	実	シダ植物		
1	アオツツラフジ	花	30	ママコノシリヌグイ	花	1	アスカイノデ	
2	アオノクマタケラン	咲き残り若い実	31	ミツバ	実	2	イシカグマ	
3	アシタバ	花	32	メヒシバ	実	3	オオタニワタリ	
4	アメリカスズメノヒエ	花	33	ヤマカモジグサ	実	4	オニヤブソテツ	
5	ウスベニニガナ	花と実	34	ヤマヌカボ	実	5	カニクサ	
6	ウラジロチチコグサ	実	木本			6	タチクラマゴケ	
7	オオアレチノギク	花と実				7	タチシノブ	
8	オオバコ	実	1	アオキ	若い実	8	タマシダ	
9	オニドコロ	花	2	アカメガシワ	若い実	9	ナチシケシダ	
10	カニツリグサ	実	3	イタビカズラ	実	10	ナンカイイタチシダ	
11	コナスビ	花と実	4	イヌビワ	実	11	ノキシノブ	
12	コニシキソウ	花と実	5	エノキ	実	12	ハチジョウカナワラビ	
13	シチトウスミレ	実	6	オオバヤシャブシ	実	13	ハチジョウシダ	
14	シマボロギク	花と実	7	オオムラサキシキブ	花	14	ハチジョウベニシダ	
15	スズメノカタビラ	実	8	ガクアジサイ	咲き終わり	15	ヒトツバ	
16	タチスズメノヒエ	実	9	シマクサギ	蕾	16	ホシダ	
17	チチコグサ	実	10	スダジイ	実の虫こぶ	17	ホラシノブ	
18	ツメクサ	実	11	タイミンタチバナ	若い実	18	マツバラソ	
19	トウバナ	実	12	テイカカズラ	実	19	マメツタ	
20	トキワツユクサ	花	13	トベラ	実	今回はシダ植物19種を含む、74種の植物を観察しました。草本植物は夏枯れの様相を呈し、樹木の実が目立ち始めました。昆虫ではキチョウとテングチョウが多く、ツクツクボウシの声が盛んに聞かれました。また、調査中外来種のアシナガバチとアズマヒキガエルを一頭づつ駆除しました。		
21	トキワハゼ	花	14	ハゼノキ	実			
22	ナギナタガヤ	実	15	ヒメユズリハ	若い実			
23	ニワゼキショウ	実	16	ホルトノキ	花			
24	ネジバナ	実	17	マサキ	花			
25	ヒナギキョウ	花と実	18	マンリョウ	若い実			
26	ヒメジョオン	花と実	19	モチノキ	実			
27	ヒメヨツバムグラ	花と実	20	モッコク	若い実			
28	ヘラバヒメジョオン	花と実	21	ヤブニッケイ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、桑の葉に付く「クワコ」にスポットを当ててみたいと思います



クワコ *Bombyx mandarina*

カイコガ科カイコガ亜科のガ。国内では北海道、本州、四国、九州、対馬、屋久島、トカラ列島に分布しています。

カイコの野生型といわれています。八丈島では記録はなかったのですが、何故かこの春にいろいろな地区で確認されています。確認されていなかっただけで、以前からいたのかは分かりません。

2018 八丈ビジターセンター 8 フ로그램カレンダー

日付の下に書かれているグラフは、八丈島（神湊）の潮汐のデータです。
満潮・干潮の時刻を表示しています。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 ガイドウォーク
	この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		07:01 13:31 20:12 01:21 07:42 14:04 20:42 02:00 08:31 14:40 21:15 03:39 09:34 15:23 21:54	光るキノコ観察会	光るキノコ観察会	光るキノコ観察会
5 ガイドウォーク	6	立秋 7	8	9 ガイドウォーク	10	11 ガイドウォーク
光るキノコ観察会 04:49 11:06 16:21 22:44	光るキノコ観察会 06:08 13:05 17:49 23:53	光るキノコ観察会 07:23 14:44 19:35	01:10 08:28 15:50 20:57	光るキノコ観察会 02:18 09:23 16:39 21:55	夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 光るキノコ観察会 03:17 10:13 17:21 22:42	夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」 光るキノコ観察会 04:09 11:09 18:59 23:23
12 ガイドウォーク	13	14	15	16	17	18 ガイドウォーク
植物公園 「夏休み特別行事」 光るキノコ観察会 04:58 11:42 18:34	夏休み特別行事 「夏の星空観望会」 光るキノコ観察会 05:46 12:22 19:06	光るキノコ観察会 06:33 13:00 19:36	07:20 13:36 20:03	光るキノコ観察会 08:09 14:10 20:29	光るキノコ観察会 09:05 15:06 20:56	光るキノコ観察会 10:20 16:19 21:29
19 ガイドウォーク	20	21	22	処暑 23	24	25 ガイドウォーク
夏休み特別行事 「子供クラフト教室」 光るキノコ観察会 05:02 12:16 18:14 23:18	光るキノコ観察会 06:29 13:22 19:45	光るキノコ観察会 07:46 14:26 20:09	08:43 15:03 21:15	光るキノコ観察会 09:27 16:33 21:55	光るキノコ観察会 10:04 17:00 22:27	八丈学講座 「台風と島の天気」 光るキノコ観察会 03:55 10:37 17:25 22:56
26 ガイドウォーク	27	28	29	30	31	
夏休み特別行事 「子供クラフト教室」 光るキノコ観察会 04:32 11:08 17:49 23:24	光るキノコ観察会 05:06 11:38 18:13 23:53	光るキノコ観察会 05:06 12:08 18:38	06:17 12:37 19:02	光るキノコ観察会 06:54 13:07 19:27	光るキノコ観察会 07:35 13:37 19:52	

イベントプログラム

夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	潮だまりに棲む生きものを採集してみんなで観察します。濡れても良い格好で！サンダルは不可 8/10（10:30～ 約1時間半）小学生と保護者（未就学児同伴不可） 現地集合・解散（当日決定） 参加費：50円 定員：15名
夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」	夏の恒例トレッキング！三原山を縦断します。標高の高い場所は少し涼しいですよ！ 8/11（9:30～ 約6時間）小学生以上（小学生は保護者同伴・未就学児同伴不可） ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 定員：20名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を感じましょう！ 8/12（13:30～ 約1時間半）中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
夏休み特別行事 「夏の星空観望会」	夏の三角形など夏を代表する星の観望会です。みんなでペルセウス座流星群の数を数えましょう！ 8/13（19:30～ 約1時間半）小学生以上（小学生は保護者同伴・未就学児同伴不可） ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：20名
子供クラフト教室 「作ってみよう・海の音」	毎年恒例の子供クラフト教室。竹と砂・竹串を使って、波のような音の出る楽器を作ります！ 8/19（13:30～ 約1時間半）小学生（3年生までは保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
八丈学講座 「台風と島の天気」	毎月行っている八丈学講座。今月は、台風の進路や島への影響についてのお話です。 8/25（13:30～ 約1時間半）中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名
子供クラフト教室 「紙すき～自然の色を楽しもう～」	毎年恒例の子供クラフト教室。牛乳パックから取り出したパルプを自然の色で染め、ハガキを作ります！ 8/26（13:30～ 約1時間半）小学生（3年生までは保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

夏休み特別行事 「光るキノコ無料観察会」	8月1日～8月31日（8月1・8・11・15・22・29日は、お休みにします） 受付時間：19:20～20:00 受付締切は20:00です。植物公園メインエントランス集合 無料 NPO 法人八丈島観光レクリエーション研究会等のボランティアガイドがご案内いたします。
-------------------------	--

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2018.8.1 第207号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

アオウミガメの産卵がありました。自然の砂浜が無い八丈島（以前は洞輪沢地区にあった）でウミガメが産卵するのは厳しいと感じています。
今回も新しく入れた砂が波で沖に流れ、ウミガメはそこが砂浜だと思ってしまったのでないでしょうか？なんだかちょっと可哀想です。（高）